

一般質問から

※ここに掲げている質問は、一般質問の一部を抜粋したものです。

民進党・県議団



大田議員 平成27年度衛生行政報告例によると、本県における10代の人工妊娠中絶実施率は全国で最も高い。県教育委員会は、中学校での性にに関する学習にどう取り組むのか。

佐々木議員 県教育委員会の調査では、県立の全日制高校延べ102校の修学旅行のうち75校がスキーまたはスキーと東京訪問等を組み合わせて実施している。修学旅行の特色化、多様化を進め、教育的意義を高める必要がある。

中村議員 放置竹林対策や治山・農業用水利施設の機能維持について問う。

堤議員 わが国の虫歯の減少は、歯磨きや食生活の改善によると考える。本県では、学校へのフッ化物洗口の導入ではなく、妊婦の方や学童期の子どもたちに対する歯科保健指導の徹底に加え、「口腔崩壊」の子どもや保護者などへの働きかけにより、歯と口の健康づくりを推進すべきだ。

原中議員 警固断層南東部地震が発生し、一時的に福岡空港が使えない場合、佐賀空港を災害救援部隊や物資の輸送などに使わせてもらうよう、佐賀県と災害時相互応援協定を結ぶべきだ。

え、採用情勢や配置ポストの拡大に合わせた女性用施設整備なども勘案し採用拡大を進める。

川崎議員 玄海原発3・4号機の安全性について住民の疑念は払拭されていない。知事の3・4号機再稼働容認発言の撤回を求める。

西尾議員 相撲の競技人口の底辺拡大を図るための子どもたちへの働き掛けについて問う。



松下議員 放課後児童クラブの放課後児童支援員を養成するため本県が開いている「放課後児童支援員認定資格研修」の福岡、北九州両政令市での開催をもっと増やすべきではないか。

新開議員 透析医療機関が災害などで透析ができなくなった場合に受け入れ可能な病院をお知らせする「透析メール」の登録者数の促進と、九州一円での利用について問う。

松下議員 放課後児童クラブの放課後児童支援員を養成するため本県が開いている「放課後児童支援員認定資格研修」の福岡、北九州両政令市での開催をもっと増やすべきではないか。

交通手段を考慮し、政令市内の会場を増やすこととしている。

壹岐議員 経済的に困っている子育て世帯の相談を受け付け、解決に向けた支援を行う県の「子ども支援オフィス」と学校との連携について見解を問う。

西尾議員 相撲の競技人口の底辺拡大を図るための子どもたちへの働き掛けについて問う。

新開議員 透析医療機関が災害などで透析ができなくなった場合に受け入れ可能な病院をお知らせする「透析メール」の登録者数の促進と、九州一円での利用について問う。

松下議員 放課後児童クラブの放課後児童支援員を養成するため本県が開いている「放課後児童支援員認定資格研修」の福岡、北九州両政令市での開催をもっと増やすべきではないか。

用性について説明を続け、要望があれば直ちに具体的な協議を進めたい。

九州・沖縄未来創造会議 7月18日、九州・沖縄未来創造会議のプロジェクトチーム(PJT)会議及び総会が長崎市で開催され、本県議会から松尾統章議員、大塚勝利議員、吉武邦彦議員が参加しました。

PJT会議では、九州各県議会議長会から諮問された「九州・沖縄が一体となった海外戦略」について、「九州各県のアジア国際戦略」や「2019年・2020年に向けた観光戦略」及び「農産物の輸出戦略」に関するこれまでの議論を取りまとめた提言(案)を決定し、この提言(案)は、続いて開催された九州・沖縄未来創造会議総会で承認されました。

内容は、2019年のラグビーワールドカップや2020年のオリンピック・パラリンピックの開催を踏まえた観光客等の誘客への積極的な取り組み、海外事務所等の共同設置など、5つの最重要項目を含む17項目に及んでいます。

これらの提言は、8月23日に開催される九州各県議会議長会議で報告されることになっています。

九州一円での利用について問う。

